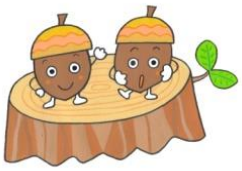

子どもの森づくり通信

発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

〒146-0082 東京都大田区池上１－３－４　tel:03-5755-3213　fax:03-5755-3081
http://www.kodomono-mori.net　　mailto:info@kodomono-mori.net

ＪＰ子どもの森づくり運動
参加園月例会報
（2019年12月号）

「ＪＰ子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、
活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

＜今月の１枚＞

今年も1年間、活動を共に推進していただきありがとうございました。
2019年も、地球温暖化による自然災害が多発し、ますます環境活動に関する関心が高まっています。
幼児(少)期の子どもたちに「環境心」を育むＪＰ子どもの森づくり運動の活動意義も、
ますます高まることと思われます。来年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。
写真は、「富良野自然塾」にある石文です。『地球は子孫から借りているもの』
年末にあたり、あらためて環境学習の原点として確認しておきたいと思います。

（目次）

１．2019年をふりかえって
２．事務局からのお知らせ
「全国集会＆研修会2020」参加者募集のご案内

■「ＪＰ子どもの森づくり運動」とは
今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「ＪＰ子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の保育園・幼稚園・こども園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「ＪＰ子どもの森づくり運動」運営体制
・運　　営　：ＮＰＯ法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）
・特別協賛　：日本郵政グループ
・後援/協力
（公社）全国私立保育園連盟　　（公社）大谷保育協会
（公社）国土緑化推進機構　　ＮＰＯ法人Ｃ・Ｃ・Ｃ富良野自然塾
（一社）日本森林インストラクター協会　　ＮＰＯ法人自然体験活動推進協議会
ＮＰＯ法人MORIMORI ネットワーク　　（一社）日本オート・キャンプ協会
（株）実業之日本社　月刊ガルヴィ編集部　　保育環境研究所ギビングツリー

１．2019年をふりかえって

ＪＰ子どもの森づくり運動は、今年も着実に活動を積み上げさせていただきました。全国で、新規６園の保育園、幼稚園、こども園さんにも活動にご参加いただきました。2019年12月現在、参加園総数は128園となり、全国で約6000名を超える子どもたちが活動に参加する大きな運動に育ちました。さらに、10周年を踏まえ、これからの10年で取り組む新しいミッションに踏み出すこともできました。そんな1年間を共にふり返り、来年の活動につなげたいと思います。

１）地域での活動

活動参加園が、それぞれの地域の森や公園で活動する、ＪＰ子どもの森づくり運動の地域での活動です。今年の活動の中から二つの初めての活動をご紹介します。

長野県「慈光幼稚園」初めての植樹活動

香川県「丸亀ひまわりこども園」初めての“どんぐり”拾い活動

２）「東北復興グリーンウェイブ」植樹活動

今年も全国から、岩手県山田町に苗木が届きました。

岩手県山田町の苗畑に植えられました。

岩手県宮古市「あかまえこども園」にも植えられました。

岩手県「カキの森」で育った苗木が、
福島県伊達市「伊達こども園」の園庭に植え替えられました。

３）普及・広報活動

●「みどりとふれあうフィスティバル2019」のステージに出演しました。

・日時：2019年5月11日(土) ・会場：東京都「日比谷公園」

・内容：「東北復興グリーンウェイブ」の活動を紹介しました。

アンバサダー“どんぐり～ず”も参加して、今年も「くまモン」と♪どんぐりえがおダンスを踊りました。その後の「アースディいのちの森2019実行委員長」の野中ともよさんと子森ネット清水代表とのトークショーには、東京都の「中目黒駅前保育園」の天野園長先生と子どもたちが、東北に送る“どんぐり”の苗木を持って参加してくれました。

●自然体験プログラム全国キャラバン2019を実施しました。

ＪＰ子どもの森づくり運動では、参加園の活性化を目的に、10周年記念で作成された「保育に役立つ自然・環境体験プログラム集」を活用した「自然・環境体験講座全国キャラバン」を展開しました。結果、2019年は、全国15園で、自然・環境体験出張講座が開催されました。インストラクターは、ネイチャーゲーム、及びチームビルディングインストラクター―の子森ネットの塚原事務局長が務めました。キャラバンは、来年度も継続されます。

実施プログラム例：森の色合せ

●「エコプロ2019」に出展しました。

・日時：2019年12月5日(木)～7日(金)

・会場：東京ビッグサイト　西ホール

今年も、国内最大の環境展「エコプロ2019」に出展して、1年間の活動報告を開催しました。活動は、日本郵政グループさんのブースでも紹介されました。

４）活動の展開

ＪＰ子どもの森づくり運動では、2019年度より、これまでの10年を踏まえて、これからの10年の活動ミッションとして**「園庭緑化運動」**に取り組みはじめました。園庭を単なる平坦な運動だけの場ではなく、幼児(少)期の子どもたちにとって、多様な自然や環境の体験のできるもっとも身近なフィールドとして緑化、改善していこうという運動です。子どもの森づくりプログラムにおいても、園庭を子どもたちが植えた樹木を日々観察できる有効な植樹フィールドと考え、「園庭緑化運動」を積極的に推進してまいりたいと思います。

「園庭緑化運動」関西研修会

「園庭緑化運動」を周知するために、2019年は、関西と関東で研修会を企画しました。研修会は、12月16日(月)に、まずは関西（東大阪）で開催され、とても意義あるものとなりました。開催の詳細は、「子森通信」新年1月号でレポートします。ホームページでもご紹介しております。関東（東京）での研修会は、2020年2月13日(木)、14日(金)に「全国集会＆研修会2020」として開催されます。参加募集の詳細は次ページをご参照下さい。

２．事務局からのお知らせ

～一本の苗木を植えることからはじめる「園庭緑化」を考える～
JP子どもの森づくり運動「全国集会＆研修会2020」 参加者募集のご案内

ＪＰ子どもの森づくり運動の参加園と保育関係者が集い、交流と情報交換を行う「全国集会＆研修会2020」のご案内です。今回のテーマは、今、世界的に機運が高まっている園庭緑化（改善）活動です。子どもたちが、子どもの森づくり運動で育てた地元の木の苗木を植えることからはじめる手づくりの園庭緑化を考えます。これまで園庭緑化に関心がありながら、最初の一歩が踏み出せなかった保育者に対して、そのきっかけを提供できればと思っております。園庭緑化について、最先端の知見をお持ちの講師が揃いました。“参加しないという選択肢はないでしょう！” 是非、ご参加下さい。

１．日時：2020年

２．会場

●開催概要「大田区産業プラザPIO」東京都大田区南蒲田1丁目20-20（京急蒲田駅から３分、JR蒲田駅より7分）

３．主催：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（子森ネット）

４．共催：ＪＰ子どもの森づくり運動「全国集会2020」実行委員会（幹事園：新宿こだま保育園）

５．特別協賛：日本郵政グループ

６．後援：（公社）こども環境学会　国際校庭園庭連合日本支部

７．協力：保育環境研究所ギビングツリー（公社）全国私立保育園連盟　（公社）大谷保育協会

８．募集対象者（数）：保育園、幼稚園、こども園職員、及び保育団体関係者（先着約80名）

９．参加費：別紙申し込み用紙に記載

10．参加申し込み：別紙申込み用紙にご記入の上、子森ネットまでお送り下さい。

＊ホームページからもお申込みいただけます。 ⇒http://www.kodomono-mori.net

＊既に、参加をお申込みいただいている方にもお送りしております。ご了承下さい。

●スケジュール（予定）

＜2/13（木）＞

13:00　開会式

13:15　基調講演「園庭緑化の意義について」

新宿せいが子ども園 園長

保育環境研究所ギビングツリー　代表　藤森平司氏

14:30　講演２「園庭緑化の現状について」

東京大学発達保育実践政策学センター

園庭調査研究グループ / 園庭研究所 代表 石田佳織氏

15:30　講演３「自治体による森と自然の活用した保育・幼児教育の新たな潮流～園庭緑化の推進に向けて～」

（公社）国土緑化推進機構　政策企画部

政策企画課長　木俣知大氏

16:00　実践講座「 幼児(少)期の自然・環境体験講座」

ネイチャーゲームインストラクター

子森ネット 事務局長　塚原　茂

18:00　交流会

＜2/14（金）＞

9:00　基調講演「園庭緑化の実際について」

国際校庭園庭連合日本支部　代表

鶴見大学短期大学部保育科　准教授

仙田　考氏

10:45　園庭緑化事例報告

東京ゆりかご幼稚園　園長　内野 彰裕氏

11:45　ふりかえり

12:00　終了予定